

他社の元請け現場にカードリーダー CCUS普及へ先進施策

大成ロテック北信越支社は、協力会社の建設技能者が従事する他の元請け企業の現場に、建設キャリアアップシステム(CCUS)のカードリーダーを代替的に設置する取り組みを始めた。システム普及による処遇改善への実効性向上が狙いで、支社独自の先進的な試みとなる。

具体的には、同支社の協力会社で働く建設技能者が、CCUSのカードリーダーが設置されていない他社の元請け現場に従事する際、協力会社側から要請があった場合に、支社側が他社元

請けと協議し了解を得た上で、カードリーダーを代替設置する。当該カードリーダーについては、同支社の協力会社の建設技能者のみを使用できる。

本社の理解の下、同支社は2025年から試行を開始、実際の制度運用はこれからとなっている。

山本達也執行役員支社長は、「将来的にCCUSのタッチ数が職人の給与や実績の査定要素になるだろう。職人の実績の積み上げのためにも、CCUSを強力に推進したい」と話している。

大成
ロテック
北信越
支社

